

平成27年11月9日

評価専門調査会事務局

## 文部科学省に追加の説明及び追加の資料提出を求める事項 (第1回評価検討会での質疑及びその後の委員からの要請)

### 1. 将来ビジョン(世の中が目指している社会の姿)

- (1) 研究開発によって何をどう変えるのか(ターゲット)を示してほしい。  
(経済成長や産業構造の変革にどのように貢献するのかを示してほしい)
- (2) 3年後、5年後、10年後の姿(何ができるようになるのか)を描いてほしい。
- (3) 本プロジェクトの目的を具体的に示してほしい。要素技術を極めることか、技術によって将来の産業構造を変えることか。
- (4) 応用研究であればビッグデータやIoT、サイバーセキュリティを統合する必要性はあるが、本プロジェクトが軸足を置く基礎研究において、統合を掲げる意義は何か。

### 2. 開発戦略、実施内容等の妥当性

- (1) 研究開発の全体像と時間軸、各省の分担を具体的に示してほしい。
  - a 本プロジェクトに係る技術分野における世界の中での日本のポジション(ベンチマーク) ※いまの資料はファクトの羅列に過ぎない
  - b 今、何がどこまでできていて、何ができていないのか(現状分析)。
  - c 我が国の強み(技術面、事業面)はどこか(現状分析)。
  - d 限られた予算に鑑み、ベンチマークや現状分析、産業界や社会のニーズを踏まえ、どの研究分野に集中するか(シナリオ)。
  - e 研究開発を実施する研究分野毎の3年後(短期)、5年後(中期)、10年後(長期)の成果/目標値は何か。
  - f 3省はどう分担するのか(実施内容、分野や時間軸での分担)。
  - g 本プロジェクト(文科省担当部分)における研究分野ごとの資源配分(予算、人材)、成果目標を示してほしい。  
※いまは達成度を測れる目標になっていない
  - h 本プロジェクトの具体的な開発スケジュール(線表)を示してほしい。
  - i 3省における人材育成の分担(分野、人数等)はどうなっているか。

- (2) プラットフォームとは何か。ソフトウェアを指すのか、組織を指すのか。本プロジェクトで実現を目指すプラットフォームの姿を明確にしてほしい。

### 3. 研究開発マネジメントの妥当性

- (1) 3省連携が情報発信や情報共有にとどまらず、実効的に進むスキームを示してほしい。
- a 3省合同の事業推進委員会と、文科省・経産省合同の事業推進委員会、文科省のAIP推進委員会の関係(独立性、役割分担、責任範囲等)はどうか。
  - b AIPセンターと人工知能研究センター(産総研)を一体的に運営するため、その拠点の集約について、どのように考えているか。
  - c AIPセンターと人工知能研究センターの両センター長の上に、全体を俯瞰し、アドバイスをするリーダーを置くことは考えているか。
  - d 研究開発テーマの選定や研究開発成果のスムーズな実用化に向け、社会ニーズや事業動向を分析するチームや、成果の実用化支援を検討するチームを整備することは考えているか。
- (2) 産業界とどのように連携するのかを具体的に示してほしい。
- a 産業界のニーズや要請をどのように取り込むのか。
  - b AIPセンターへの産業界研究者の参画を考えているか。
  - c 研究開発成果をすみやかに実用化する仕組みをどう考えているか。
- (3) 本プロジェクトの評価体制について、推進体制との関係(独立性)、スケジュール、評価基準、権限を示してほしい。
- (4) AIPセンターにおける研究開発体制を明確にすべきである
- a センター長の人選はどのように行うのか。
  - b センター長の役割、責任、権限はどうか。
  - c 総研究者数、およびAIPセンターを本務とする研究者数はどの程度か。
  - d 海外流出が懸念される中で、トップの研究者を集める工夫はあるか。
  - e センター長および実施体制が決まり、研究開発が始まるまでのスケジュールを示してほしい。
  - f 他の研究機関(NIMS, NII等)との連携のあり方をどう考えているか。理研にある関連研究機関との連携が十分に図れるようになっているか。
  - g 新領域開拓者支援におけるPD/POの役割分担を示してほしい。  
(PDが100人の研究者を管理する負担をどのように軽減するのか)